

チームくじら号 とは

目的

主に小・中・高校生などの子どもたちとそのまわりの人々（保護者、教員等）に対して、自然科学教育・普及啓発、および教育コンテンツの制作・頒布に関する事業を行い、未来の地球を担う子どもたちの健全育成に寄与します。

ミッション

●深海ぼうけん絵本読み聞かせ隊
海洋・深海の生態系の不思議を学ぶ。

●うみの環境しらべ隊
海洋環境問題の現状を知り、未来への対策を考える。

活動の沿革

2008年6月9日 第1回読み聞かせ公演の実施
2015年11月3日 100回記念公演（高知コア研究所）
2017年8月15日 NPO法人設立
2017年9月16日 チームくじら号進水式



第1回読み聞かせ公演風景

チームくじら号 理事紹介

代表 加藤 千明 農学博士 深海微生物研究者・バイオテクノロジー
副代表 佐藤 孝子 博士（理学）JAMSTEC 深海生物研究者・科学作家
副代表 海津ゆりえ 博士（農学）文教大学国際学部教授・エコツーリズム
副代表 亀山 豊 一般社団法人生物多様性アカデミー・環境調査の専門家
理事 柏原 羽美 書籍・絵本編集制作 シンガーソングライター
理事 山田 海人 鎌倉市環境教育アドバイザー・ピーチコーミング
理事 兼廣 春之 工学博士 東京海洋大学名誉教授・海ゴミ問題の専門家
理事 武田 夏子 音楽スタジオハーモニーフォレスト主宰・音楽指導者・声楽家・作曲・編曲家
理事 島村 道代 博士（地球環境科学）JAMSTEC調査役・地球化学
監事 木戸ゆかり 博士（理学）JAMSTEC 挖削船ちきゅう運用・地球物理

NPO法人
チームくじら号

深海絵本の読み聞かせ

海の環境しらべワークショップ

サイエンスコミュニケーション

チームくじら号

3つの願い

- 未来の科学者よ、あつまれ、学べ！
- 老若男女、全ての世代に、深海の不思議と 地球環境問題を伝えていきたい。
- 最先端科学と市民とをつなぐ インターメディエイター。

NPO法人 チームくじら号

代表 加藤千明 E-mail: katochi@kujirago.org
f <https://www.facebook.com/VehicleKujira/>
URL: <http://kujirago.org/>

チームくじら号 検索

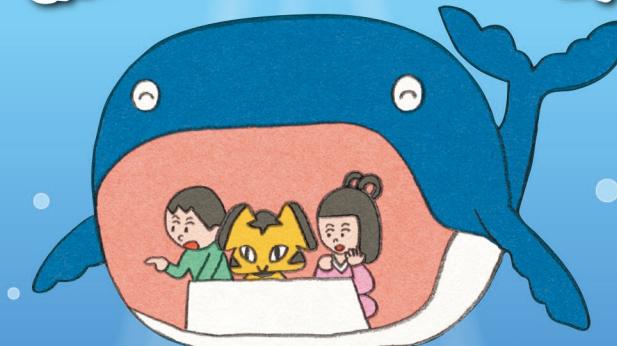
お問い合わせ

info@kujirago.org

※公演やワークショップ開催、出前授業、講師派遣など、
お気軽にご相談ください。

チームくじら号の活動は皆様のご支援に支えられております
【ご寄付のお願い】
ゆうちょ銀行（普通預金）店名：〇九八 口座番号：1952063
口座名：エヌビーオー・ホウジン・チームクジラコウ

くじら号にのって みんなで海をぼうけんしよう！



未来の科学を担う子どもたちに対し、
海の生態系と環境を体験学習する
活動を行っています



オオグチボヤ



ジウモンジダコ



アカカブトクラゲ



フェオダリア



オヒメノハナガサ

深海ぼうけん絵本 読み聞かせ隊

深海ぼうけん絵本『くじら号のちきゅう大ぼうけん』(文さとうたかこ 絵 阿部伸二)に、大迫力の深海生物映像や生演奏による調べを組み合わせ、作者による読み聞かせで、わくわくドキドキいっぱいの臨場感あふれる絵本読み聞かせ公演を行います。さらに実際に「しんかい 6500」に乗船して深海の調査研究をしてきた学者による、わかりやすい解説つきで、海の不思議な生き物や生態系について楽しく学んだり、最先端の深海サイエンスにふれたりすることができます。



うみの環境しらべ隊

海ゴミ、とりわけプラスチックゴミ（プラゴミ）の問題は地球温暖化の問題とともに、人類が解決すべき課題として世界的に対策の検討が続いている。ここでは、子どもたちと一緒に最も寄りの海岸に出て、専門家の指導のもと漂着物調査を行い、「なぜこうしたものが海岸に打ち上がるのか？」「なぜプラゴミは自然に分解されないのか？」「生き物への危険性は？」などについて、体験的に学びます。そこから、環境問題に高い意識を持つ子どもたちを育てていくことをめざしています。



調査風景



チームくじら号の読み聞かせ公演には、2008年6月から今日まで、日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど、のべ140ヶ所、約12,000名の子どもたちが参加。保育園や小学校、養護学校

では子どもたちの学年や学習進度に合わせて、科学イベントや水族館などでは、大人も楽しめる講演会を組み合わせるなど、多彩な公演プログラムで実施してきました。



研究所公開日の公演



出前授業風景（小学校）



汚染された海岸



プラスチックゴミ

